



環境経営レポート

2023年度版

実施期間：2023年5月1日～2024年4月30日

2024年5月16日発行
2024年8月16日訂正



エコアクション21
認証番号 0001052



株式会社飯塚鉄工所

1. 環境経営方針

(株)飯塚鉄工所は以下の環境経営方針を定めています。

環 境 経 営 方 針

基本理念

株式会社飯塚鉄工所は、金属部品加工製造業として自然との調和を意識し、環境問題を認識すると共に、環境経営システムを構築・運用し維持することにより継続的な改善に取り組む。

活動方針

1. 当社は環境関連法規、条例及びその他の規制を遵守し、可能な範囲で環境保全に取り組む。
2. 資源・エネルギーの消費の適正化（二酸化炭素排出量削減）に努める。
 - ・電力消費量の削減
 - ・化石燃料の削減
3. 廃棄物の削減と、資源としての再利用を進める。
 - ・一般及び産業廃棄物の分別の徹底
 - ・リサイクル率の向上
4. 水資源投入量の適正化に努める。
 - ・水使用量の削減
5. 環境活動に配慮した生産活動の推進
6. 環境に優しい物品への取替えを進める。（グリーン調達の実施）
この環境方針達成のため、環境教育や必要な訓練により、全従業員に周知徹底を図る。

制定日 2014年5月1日

改訂日 2020年5月1日

株式会社 飯塚鉄工所

代表取締役 飯塚肇

2. 組織(事業所)の概要

① 事業者名及び代表者名

株式会社 飯塚鉄工所
代表取締役 飯塚 肇

ホームページ <http://www.e-iizuka.co.jp>

② 所在地

(本社工場) 〒945-0812
新潟県柏崎市半田3丁目15番16号

(安田工場) 〒945-1355
新潟県柏崎市安田3228番地1

(軽井川工場・軽井川第二工場・品質物流工場)
〒945-1356
新潟県柏崎市軽井川931番地2

(城塚倉庫) 〒945-1343
新潟県柏崎市城塚2丁目2番地

(愛知営業所) 〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅3丁目17-34
ナカモビル3F



③ 対象範囲

全組織・全活動を対象とする

④ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 阿達 祐也

E A 2 1 事務局
連絡担当者

総務部 布施 深雪

TEL 0257-41-5551

FAX 0257-41-5501

⑤ 事業活動(対象範囲)及び活動の内容

流体機器、真空機器、医療機器の金属部品加工製造業

流 体 機 器

：コントロールバルブ組立・部品加工

：ポンプ組立・部品加工

：一般特殊機械の部品加工及び制作

真 空 機 器

：真空バルブ・部品加工

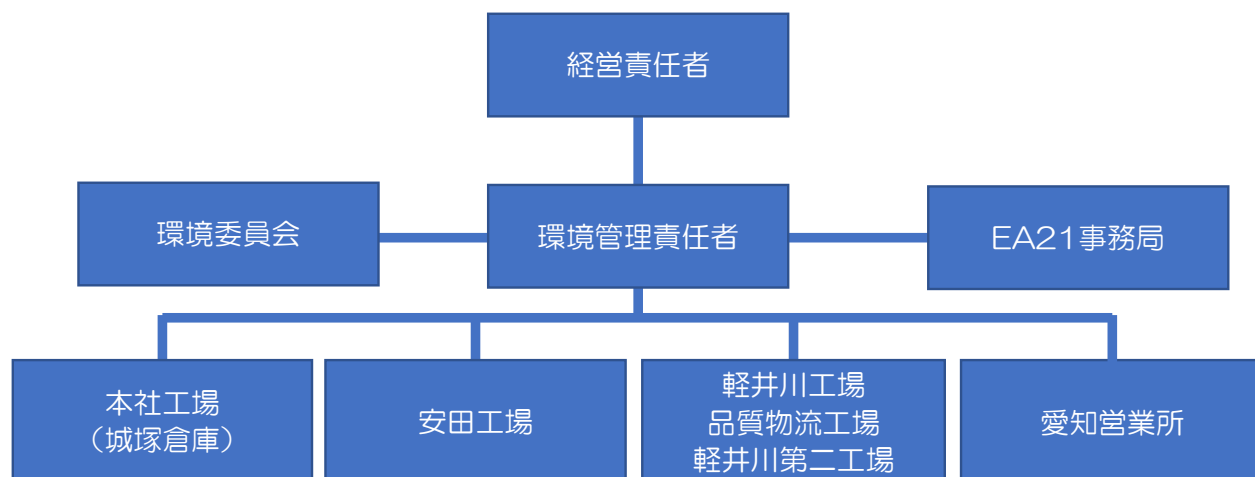
医 療 機 器

⑥ 事業の規模

従業員数 133人 (2024年5月16日現在)
(本社 54人 安田 7人 軽井川 31人 軽井川第二 7人 品質物流 32人)
(愛知営業所 2人)

敷地面積	本 社	(延べ 1714㎡)
	安田工場	(延べ 1586㎡)
	軽井川工場	(延べ 3123.82㎡)
	城塚工場	(延べ 1153㎡)
	合計	(延べ 7576.82㎡)

3. 環境組織図



環境管理責任者を委員長とした「環境委員会」を設置し活動している。

※2023年度は新設された「品質物流工場」と「愛知営業所」を含む「全組織・全活動」として取り組みを進めた。

環境経営における役割・責任・権限

役割	責任・権限
代表者 (経営責任者)	① 代表者は、代表取締役とする。 ② 代表者は、環境管理責任者を任命する。 ③ 経営における課題とチャンスを確認にする。 ④ 環境への取組を適切に実行する為の資源を用意する。 ⑤ 自ら「環境経営方針」を定める。 ⑥ 社全体の「環境経営目標」及び「環境経営マニュアル」「環境システム組織図」「環境経営レポート」を承認する。 ⑦ 代表者は毎年1回 エコアクション21に基づく環境経営方針、環境経営目標の効果の評価し、必要に応じて見直しを行う。
環境管理責任者	① 環境管理責任者は、代表者に代わり環境マネジメントシステム全体の構築・運用・維持に責任を持つと共に必要な権限を有する。 ② 代表者に代わって要求事項を満たす環境マネジメントシステムを構築・運用し、その状況を代表者に報告する。 ③ 社全体の「環境経営目標」を策定する。 ④ 「環境経営計画」「環境関連法規」「緊急事態対応マニュアル」「教育訓練年間計画」を承認する。 ⑤ 環境委員会の主催。
EA21事務局	環境管理責任者の指示により、下記業務を行う。 ● 「環境経営マニュアル」の作成及び改訂の作成 ● 社全体の「環境経営目標」及び「環境経営計画」の作成 ● 環境関連文書及び記録の作成・確認 ● 代表者による全体の取組状況評価及び見直し結果の記録作成 ● 環境経営レポートの作成・取りまとめ
環境委員	① 環境管理システムを運用・管理する ② 「環境経営方針」の周知徹底 ③ 「環境経営目標」の達成に向けての活動促進 ④ 実施体制の周知徹底 ⑤ 緊急事態の想定及び訓練実施
従業員	① 「環境経営方針」を理解し、「環境経営目標」達成の為、「環境経営計画」を確実に実施する。 ② 自己の業務が環境に及ぼす影響を十分に認識し、環境の維持・改善に努める。

4. 環境経営目標

2023年5月から城塚倉庫の機能を軽井川地区の品質物流工場に移転した。品質物流工場の電気使用量等は軽井川工場と一体で把握されるため、2023年度の目標は、本社工場・城塚倉庫、安田工場、軽井川工場・軽井川第二工場・品質物流工場に係る目標とした。（以下、「本社工場、安田工場、軽井川工場」と表記）

環境経営目標	目標基準値(2020年度)	中期目標		
		2021年度	2022年度	2023年度
対生産電気効率10%向上	79.0(point)(本社工場・安田工場) 242.4(point)(軽井川・第二工場)	対生産電機効率10%向上 86.9 266.6	対生産電機効率10%向上 95.6 293.3	対生産電機効率10%向上 105.1 322.6
CO ₂ 排出量の削減	1,010,694(kg-CO ₂)	前年度比の+10%抑制 909,597.6	前年度比2%削減 1,030,773	前年度比2%削減 ※839,056
電気使用量の削減	1,620,503(kWh)	前年度比の+10%抑制 1,458,452.7	前年度比2%削減 1,678,652	前年度比2%削減 1,738,383
化石燃料使用量の削減(ガス)	527(m ³)	前年度の数値を目標 527(m ³)	前年度比2%削減 577	前年度比2%削減 521
化石燃料使用量の削減(燃料)	7,551(ℓ)	前年度の数値を目標 7,551(ℓ)	前年度の数値を目標 9,466	前年度の数値を目標 7,760
一般廃棄物の排出量の削減	10,527(kg)	前年度の数値を目標 10,527(kg)	前年度の数値を目標 11,199	前年度の数値を目標 11,413
梱包資材のリサイクル率向上	100%	前年度の数値を目標 100%	前年度の数値を目標 100%	前年度の数値を目標 100%
水使用量の削減	1,720(m ³)	前年度の数値を目標 1,720(m ³)	前年度比2%削減 1,626	前年度比2%削減 1,544
グリーン調達の実施	95.5%	前年度の数値を目標 95.5%	前年度の数値を目標 96.2%	前年度の数値を目標 96.5%
納期確保率の向上(本社工場・安田工場)	95.0%	95.0%	顧客指定納期遵守率 85.0%	顧客指定納期遵守率 88.0%
納期確保率の向上(軽井川工場)	主要医療顧客:100% 主要ポンプ顧客:100%	主要医療顧客:100% 主要ポンプ顧客:100%	顧客指定納期遵守率 85.0%	顧客指定納期遵守率 88.0%
生産性及び品質に関わる能力の向上 (軽井川第二工場)	年/18件	年/18件	-	-

※2022年度の結果を踏まえて、2023年度の目標を見直した。

対生産電気効率(point) = 売上÷電気使用量(kwh)×売上個数

※2022年度より軽井川第二工場も「納期確保率の向上」を目標とした。

※化石燃料使用量について、「ガス」は都市ガスとLPG使用量の合計、「燃料」はガソリン、軽油、灯油の合計である。

※2023年度は2022年度の実績を踏まえ目標を設定した。なお、「CO₂排出量の削減」について、2022年度の目標までは電力に係る排出係数は 東北電力(株)の平成24年度の排出係数 0.600kg-CO₂/kwhを用いていたが、2023年度の目標は令和4年度の調整後排出係数 0.471kg-CO₂/kwhを用いて2022年度実績を再算定して設定した。

5. 2023年度における環境経営目標とその実績（全社）

2023年5月から城塚倉庫の機能を軽井川地区の品質物流工場に移転した。品質物流工場の電気使用量等は軽井川工場と一体で把握されるため、2023年度の環境負荷等の実績には品質物流工場も含まれる。

愛知営業所については、2023年5月から電気使用量、燃料使用量（ガソリン）及びグリーン購入の実績の把握を行った。

（1）本社工場、安田工場、軽井川工場の実績

項 目	2022年度	2023年度
CO ₂ 総排出量(kg-CO ₂)	856,180	843,075

項 目	目標	実績	評価	項 目	目標	実績	評価
①対生産電気効率10%向上(本社・城塚・安田)	105.1	100.4	×	⑦リサイクル率の向上(%)	100.0%	100.0%	○
(軽井川・軽井川第二)	322.6	296.8	×	⑧水使用量の削減(m ³)	1,544	1,613	×
②CO ₂ 排出量の削減(kg-CO ₂)	839,056	843,075	×	⑨グリーン調達の実施	96.5%	99.0%	○
③電気使用量の削減(kWh)	1,738,383	1,745,745	×	⑩納期確保率の向上(本社・安田)	88.0%	77.2%	×
④化石燃料使用量の削減(ガス)(m ³)	521	332	○	⑩納期確保率の向上(軽井川・軽井川第二)	88.0%	82.2%	×
⑤化石燃料使用量の削減(燃料)(ℓ)	7,760	8,149	×				
⑥一般廃棄物の排出量の削減(kg)	11,413	10,403	○				

5-1 目標設定値

2023年度は2022年度の実績を踏まえ上記表の通り設定した。

5-2 各項目換算式。

①対生産電気効率目標値(point)	=	2022年度の目標値×1.1
		計算式：売上÷電気使用量(kwh)×売上個数
②CO ₂ 排出量の削減目標値(kg-CO ₂)	=	2022年度累計数値(排出係数 0.471kg-CO ₂ /kWh)×0.98
		CO ₂ 排出量を把握する際に用いた購入電力の排出係数は令和4年度の東北電力(株)の調整後排出係数0.471kg-CO ₂ /kWhを使用した。
③電力量削減目標値(kWh)	=	2022年度累計使用量×0.98
④化石燃料削減(ガス)目標値(m ³)	=	2022年度累計使用量×0.98
⑤化石燃料削減(燃料)目標値(ℓ)	=	2022年度累計使用量×0.98
⑥一般廃棄物の削減(分別率算出(%))	=	2022年度(産業廃棄物以外)廃棄物累計排出量
		※本社工場に城塚倉庫の廃棄物を含む
⑦リサイクル率の向上(リサイクル率算出(%))	=	A/(廃棄量+A)×100
		※梱包資材のリサイクル率、廃棄量を言う
⑧水使用量の削減(m ³ /h)	=	「A=ダンボールストック量+パッキンストック量」
⑨グリーン調達の実施	グリーン調達率(%) =	2022年度累計使用量×0.98
⑩納期確保率の向上(%)	=	エコマーク商品/全購入品×100
		2023年度納期確保率 希望納期88%

（2）愛知営業所の実績

項 目	2023年度
CO ₂ 総排出量(kg-CO ₂)	4,519
電気使用量(kwh)	3,663
燃料使用量(ガソリン)(ℓ)	1,223
グリーン調達(%)	100

※電力に係るCO₂排出計数は、中部電力ミライズ(株)の令和4年度調整後排出係数0.459kg-CO₂/kwhを使用した。

（3）2023年度の結果と評価

当社(本社工場、安田工場、軽井川工場)のエネルギー使用に係るに二酸化炭素排出量は、約98%を電力が占めており、ガソリンが約1%、その他の燃料が約1%である。

2023年度環境目標は総合的に未達となった。要因は次の通りと考えられる。

・対生産電気効率：「本社・安田」と「軽井川・軽井川第二」とともに目標未達。要因は受注量の減少、新工場建設、6台の機械の増設、内製化による工程の増加などが考えられる。

・電力使用量、CO₂排出量：2023年度は品質物流工場が軽井川工場敷地内に移転し年間を通した稼働になった。2023年度の電力使用量やCO₂排出量の目標は「前年比2%削減」としたが目標未達。なお、目標の超過率は0.4～0.5%程度であり、2022年度の電力使用量やCO₂排出量の実績よりも減少しているが、医療器・半導体の減産により夜間ロボット稼働率の減少したためと考えられる。

・化石燃料使用量：「前年比2%削減」未達。化石燃料はコロナが収束し、出張が増えた為。

・水使用量：「前年比2%削減」未達。機械が増えた事、人員が増えた為。

・納期確保率：「納期確保率88%」未達。顧客の希望納期がタイトなものが多くなってきた為、内製化による工数の増加により機械が空きがない為。

愛知営業所は2023年度に把握したCO₂排出量等の環境負荷の実績をもと次年度以降の取組をすすめる。

6. 環境経営計画の取組結果と次年度の計画

2023年度の環境経営計画の取組結果は次のとおりであった。2024年度も継続して行うこととする。なお、愛知営業所においても、③ 電気使用量の削減 ④化石燃料使用量の削減(ガソリン) ⑨グリーン調達の実施については同様の取組を進めることとする。

目標項目	内 容	2023年度の取組結果	2024年度の取組内容
①対生産電気効率10%向上	生産に対して電気使用量を把握し、連絡会を通じて全体周知を行う。	全体周知が定着している。	継続して行う。
③電気使用量の削減	空調温度の適正化 未使用時の積極的な電源OFFに努める。昼休み、終業時は必ず行い、機械未稼働時にも必要なければ電源OFF。 パソコン等OA機器も同様。 始業前点検・月一回メンテナンス日の設定・実施。	徹底している。	継続して行う。
④化石燃料使用量の削減 (ガス)	未使用時の消火の徹底。 未使用時・終業時のガス栓閉の徹底。 給湯器の無駄な使用を抑えるよう心がける。	徹底できた。 徹底できた。 周知徹底を心掛けた。	継続して行う。 継続して行う。 呼びかけを行い徹底を図る。
⑤化石燃料使用量の削減 (燃料)	社用車を使用する際には「社用車点検日報」記入し使用状況を確認する。 工場間を行き来する用件なるべくまとめて回数削減。 エコドライブ運転等の配慮 部門比較は灯油使用時【冬季のみ】とする。	使用者は必ず記入し適切に管理した。 周知徹底を心掛けた。 推進できている。 冬季の灯油仕様も極力抑えた。	社用車追加により使用頻度が増加傾向になると思われるが、なるべく使用頻度を減らすよう努力する。
⑥一般廃棄物の削減	種別ごとにBOXを設置する。 ペーパータオルの使用枚数制限の実施 設置場所を確保する。分別種別表の掲示及び 環境管理責任者によるチェック・評価。	廃棄物の分別を徹底している。 定着している。 確保できている。 徹底できた。	継続して行う。
⑦リサイクル率の向上	種別ごとにBOXを設置する。 ダンボール・パッキン材は再利用不可と判断されたときに廃棄し、それ以外は出荷用としての再利用・製品の下敷など社内間での再利用に努める。 両面使用済コピー用紙や油が染みて再利用不可の物以外の梱包使用済みの新聞紙・広告は、シュレッダーにかけ、梱包資材として再利用する。	良い状態を保てている。 積極的に再利用に努めた。 積極的に再利用に努めた。	継続して行う。
⑧水使用量の削減	使用量を測定する。 節水管理の徹底をする。	検針票により確認できている。 徹底できた。	継続して行う。
⑨グリーン調達の実施	エコマーク商品の購入時の選定	推進できている。	継続して行う。
⑩納期確保率の向上 (本社・安田)	段取指示書の作成推進 新規工具の導入や切削条件の見直し検討会議	推進できている。 定着している。	継続して行う。
⑩納期確保率の向上 (軽井川・軽井川第二)	前年度の目標未達を受けて改善対策を実行	改善対策を実行できている。	重要部品について、計画を立て推進。 実績をもとに見直しと生産への反映。

7. 環境関連法規の取りまとめと遵守状況への違反・訴訟の有無

① 法規制遵守状況の適合性評価・遵守状況

- (1) 騒音規制法・・・指定地域外の為非該当。
- (2) 振動規制法・・・指定地域外の為非該当。
- (3) 新潟県生活環境保全条例・・・騒音、振動に関わる規制基準を遵守する。
- (4) 下水道法・・・特定施設対象外であるが、下水道受入基準を遵守する。
- (5) 水質汚濁防止法・・・特定施設非該当。
- (6) 浄化槽法・・・保守点検・清掃（業者委託）
- (7) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律・・・マニフェストを活用。適正処理実施。
- (8) 容器リサイクル法・・・廃棄物の減量・適正処理及び有効活用。
- (9) 家電リサイクル法（廃棄時）・・・適正処理。
- (10) 自動車リサイクル法・・・引取業者への適正な引渡し。
- (11) グリーン購入法・・・環境への負荷の低減に資する製品購入割合促進。
- (12) 消防法・・・灯油について「柏崎市火災予防条例第46条」に基づき届出をした。
- (13) 高圧ガス保安法・・・指定数量以下なので届出不要。但し規制は遵守。
- (14) 環境条例・・・遵守している。
- (15) 労働安全衛生法・・・労働者の安全と健康の確保に努めている。
- (16) フロン排出抑制法・・・業務用冷凍空調機器の適正管理。

② 違反・訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

8. 2023年度の活動に対する代表者による評価・見直しの結果

2022年度から引き続き保全活動を委員会を中心に1回/月で行い大変有意義な議論が行われた。エアコンの管理方法の維持管理定着は実感を得、また廃棄物の削減のためのマイボトル・ハンカチの持参については啓蒙活動を行い、またエコアクション通信、植樹活動と結果のルール策定など、また工場に設置されている廃棄物置き場の管理の改善活動など大変良い活動であった。工場集約に伴い評価指標については化石燃料の統合やとコメントの統合などのフォーマット類の見直しも委員会で考えた時間効率の高い新しい仕組みを期待している。

空調温度の適正化

節電にご協力ください
エアコン25℃設定
退社時 OFF

冷房中につき
開放厳禁
ご協力をお願いします

省エネ
適正室温
28℃以下
22℃以上
エアコン温度管理は
エコアクション委員会が行います。

暖房中につき
開放厳禁
ご協力をお願いします

廃棄物置き場改善

Before

After

マイボトル・ハンカチ持参啓蒙活動

7月～8月の2ヶ月は
マイボトル・ハンカチ月間です
ペーパータオル・紙コップ削減の為
マイボトル・ハンカチを
持ってきてみましょう！
皆さんご協力をお願いします。

ペーパータオル 購入量（袋/200枚）	年間トータル
2022年	5,840
2023年	4,600

920袋削

紙コップ 購入量（個）	年間トータル
2022年	126,000
2023年	117,000

9000個削

エコアクション通信

64期の結果

できた！

できなかった！

列生産電気効率 10%達成！

86.9 → 104.1

119% 達成！

ごみ分別

ペーパータオル枚数削減

98,109枚

83,929枚

15,168枚 減

エコアクション通信

Vol.1

環境経営目標に対する実績と評価

項目	2022年度実績	2023年度実績	評価
1. 省エネ（電力/トン）	232.4	432.8	達成
2. CO2削減率（%）	1,235.77	1,284.26	達成
3. 廃棄物削減率（%）	14.78	17.73	達成
4. 省資源（水/トン）	877	831	達成
5. 省資源（紙/トン）	4,468	2,762	達成
6. 省資源（プラスチック/トン）	11,339	11,437	達成
7. CO2削減率（%）	100%	100%	達成
8. CO2削減率（%）	1,520	1,575	達成
9. CO2削減率（%）	86.2%	86.3%	達成
10. CO2削減率（%）	85.5%	85.5%	達成

マイボトル・マイハンカチ月間の結果発表！

2022年度	2023年度	達成率	
マイボトル購入量	1,748kg	1,647kg	94%
マイハンカチ購入量	24箱	19箱	79%

軽井川工場駐車場内緑地にて 3本のハナミズキ植樹

工場の体制については、2024年8月末で安田工場が閉鎖となり、2024年末には本社工場が軽井川地区へ移設される。このため、これに合わせて実施体制の見直しを行うこととする。（環境組織図は組織の変更に合わせて更新する）
また、2024年度からの環境経営目標の中期目標について、2024年度は前年度の実績を踏まえ環境負荷の削減を図る内容として策定する。2025年度以降については2024年度の状況を見ながら再度検討を行うこととする。
愛知営業所については2023年度の実績を踏まえて、環境負荷の削減を図るよう目標を設定する。

①環境経営方針

☒ 変更なし

☐ 変更あり

②環境経営目標・計画

☐ 変更なし

☒ 変更あり

③実施体制他

☐ 変更なし

☒ 変更あり

9 ページ

9. 次年度の環境経営目標

(1) 本社工場、安田工場、軽井川工場の環境経営目標

		中期目標		
環境経営目標	目標基準値(2023年度)	2024年度	2025年度	2026年度
対生産電気効率10%向上	100.4(point) (本社工場・安田工場) 296.8(point) (軽井川・第二工場)	対生産電機効率10%向上 110.4 326.4	対生産電機効率10%向上 121.4 359.1	対生産電機効率10%向上 133.6 395
CO2排出量の削減 (売上高当たりCO ₂ 排出量を毎年、前年度比3.0%以上削減)	総排出量843,075(kg-CO ₂) 453.5(kg-CO ₂ /百万円)※1	売上高当たりCO ₂ 排出量を毎年、前年度比3.0%以上削減 439.9(kg-CO ₂ /百万円)		
電気使用量の削減	1,745,745(kWh)	前年度比2%削減 1,710,830	前年度比2%削減 -	前年度比2%削減 -
化石燃料使用量の削減(ガス)	332(m ³)	前年度比2%削減 325.3(m ³)	前年度比2%削減 -	前年度比2%削減 -
化石燃料使用量の削減(燃料)	8,149(ℓ)	前年度の数値を目標 8,149	前年度の数値を目標 -	前年度の数値を目標 -
一般廃棄物の排出量の削減 (従業員一人当たりの一般廃棄物量を毎年1.5%削減する)	総排出量 10,403(kg) 79.4kg/1人 ※2	従業員一人当たりの一般廃棄物量を毎年1.5%削減する 78.2kg/1人		
梱包資材のリサイクル率向上	100%	前年度の数値を目標 100%	前年度の数値を目標 -	前年度の数値を目標 -
水使用量の削減	1,613(m ³)	前年度比2%削減 1580.7	前年度比2%削減 -	前年度比2%削減 -
グリーン調達の実施	99.0%	前年度の数値を目標 99.0%	前年度の数値を目標 -	前年度の数値を目標 -
納期確保率の向上(本社工場・安田工場)	77.2%	顧客指定納期遵守率 88.0%	顧客指定納期遵守率 88.0%	顧客指定納期遵守率 88.0%
納期確保率の向上(軽井川工場)	82.2%	顧客指定納期遵守率 88.0%	顧客指定納期遵守率 88.0%	顧客指定納期遵守率 88.0%
不良率削減	本社 0.45% 軽井川 0.37%	0.35% 0.29%		

※2023年度の結果とSDGs目標を踏まえて目標を見直した。

対生産電気効率(point) = 売上÷電気使用量(kwh)×売上個数

※2022年度より軽井川第二工場も「納期確保率の向上」を目標とする。

※化石燃料使用量について、「ガス」は都市ガスとLPG使用量の合計、「燃料」はガソリン、軽油、灯油の合計である。

※購入電力の排出係数は令和4年度の東北電力(株)の調整後排出係数0.471kg-CO₂/kWhを使用。

※1 65期売上高 18億5千9百万

※2 2023年5月現在 愛知を除く従業員数131人

(2) 愛知営業所の環境経営目標

環境経営目標	目標基準値(2023年度)	2024年度	2025年度	2026年度
CO2排出量の削減※	4,519(kg-CO ₂)	前年度比2%削減 4,429	前年度比2%削減	前年度比2%削減
電気使用量の削減	3,663(kwh)	前年度比2%削減 3,590	前年度比2%削減	前年度比2%削減
化石燃料使用量の削減(燃料)	1,228(ℓ)	前年度比2%削減 1,204	前年度比2%削減	前年度比2%削減
グリーン調達の実施	100(%)	前年度の数値を目標 100	前年度の数値を目標	前年度の数値を目標

※購入電力の排出係数は令和4年度の中部電力ミライズ(株)の調整後排出係数0.459kg-CO₂/kWhを使用。